1 安全に関する注意事項

本誌〈取扱説明書〉は、ヒットエアー（衝撃緩和保護システム）付ジャケットを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。また、いつでも読めるように、大切に保管（バイク内等）して下さい。

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。

警告 ⚠ **この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

警告 ⚠ **1. ヒットエアー付ジャケットは、バイクに乗車の際に使用するもので、救命衣等、他の利用は出来ません。**

警告 ⚠ **2. ヒットエアー付ジャケットは必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して下さい。**
レインウェア着用の際にも、レインウェアを着用した上に、ヒットエアーを着用して下さい。

警告 ⚠ **3. 使用済のカートリッジボンベを取り替える際は、モデル指定のサイズ（容量）のカートリッジボンベを使用し下さい。封板（底部/ネジ部先端）に穴が開いていないことを確認してご使用ください。**

警告 ⚠ **4. ヒットエアー付ジャケット内蔵のパーツを分解しないで下さい。**

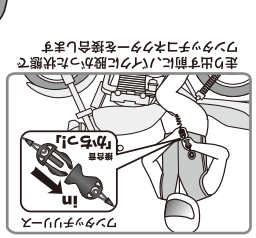
注意 ⚠ 5. ヒットエアー付ジャケットを着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起物、鋭利な物は入れないで下さい、着用前には必ず取り外して下さい。
（例：ピン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等）作動時及び、作動後にも気室（エアバッグ）を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。

注意 ⚠ 6. ヒットエアー付ジャケット取扱時は、火気厳禁にして下さい。タバコ等が原因で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。又、炭酸ガスボンベを内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40℃以下での使用に限ります。高温になると破裂の危険があります。

注意 ⚠ 7. ワンタッチリリース（コネクター）をはずすのを忘れてバイクから降りると、引っ張らた伸縮ワイヤーによってバイクが転倒する危険性がありますので、必ず、バイクに股がった状態でワンタッチリリース（コネクター）をはずして降車して下さい。

注意 ⚠ 8. 着用の前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。
お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。

2 概　要



ヒットエアー（衝撃緩和保護システム）付ジャケットは、バイク乗用の際、上衣として着用します。
転倒、衝突などによってライダーがバイクから**一定の距離**〈※1〉離れた瞬間に、キーボルトが抜け、ヒットエアーに組み込まれたキーボンベガスが作動して、カートリッジボンベの炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的に膨張するようになっています。その膨張した気室が、人体と外部の接触物の間に入り、衝撃を緩和する仕組みなっています。このような特性を持って人体各部への損傷を少しでも軽減が事を目的としてデザインされています。

「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するというものではありません」

キーボールは、簡単に抜けない仕組みになっており（**4-3** キーボンベ〈P12〉参照）走行時に予想される、ライダーのスライディングなどの動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しないようになっています。

〈※1〉一定の距離とは、ヒットエアー付ジャケットを着用し、ワンタッチコネクターを接合していくなかったかっ状態で、バイクに固定されている伸縮ワイヤーが何の障害〈※2〉もなく伸びきった状態の距離をいう。方向は前後左右を問わず同じである。

〈※2〉障害とは、ヒットエアー付ジャケットを着用し、ワンタッチコネクターを接合していくなかったかっ状態で、伸縮ワイヤーに障害物（車両、荷物、その他）などが触れたりからんだ場合の事をいう。これらの場合、一定の距離に至らなくて作動する事があります。

6.セッティングボルトを外します（写真7）
キーボールがセット出来たら必ず六角レンチでセッティングボルトを外します。

警告 ⚠ セッティングボルトを外し忘れるとエアバッグは膨らみません。

7.赤ガードを上にスライドさせ、再使用出来るようにします。（写真8）

注意 ⚠ 赤ガードを下げた状態で作動すると破損、誤作動の原因になります

8.使用済カートリッジボンベを回してキーボックスから外します。（写真2）
カートリッジボンベの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジボンベを写真９の様に回しながらキーボックスから外します。

カートリッジボンベのシールの指示方向に外します

9.エアバッグ（気室）からエアを抜きます（写真2）
気室からガスを抜く作業を行います。突起物などの無い平坦な場所にヒットエアージャケットを広げて各気室部分を押すようにしてガスを抜き出して下さい。丸めたり、畳んだりする行為はおやめ下さい、内部部品に損傷を与える場合があります。根気よく、ほぼ完全にガスが抜けるまで行って下さい。

注意 ⚠ この作業が完全に行われない場合は各気室部分の収納がうまく出来なくなります。また、エアバッグの誤作動の恐れがあります。

写真6

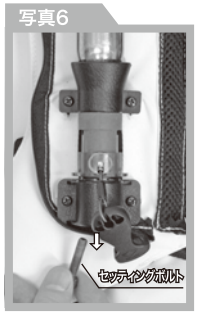


写真7

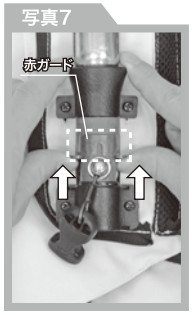


写真8

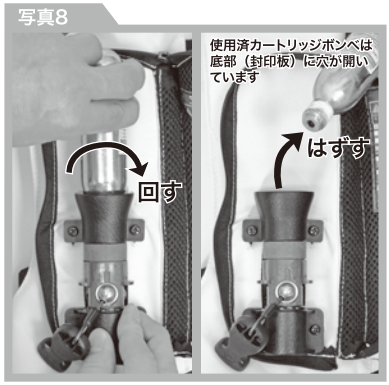


写真9

次ページへ

7 作動後の再生

7-1 再生するには

一度作動したヒットエアーシステムは、取扱店で（メンテナンスサービス）をして、再生させる事をおすすめします。ここに紹介するセッティングの方法で、各自で再生する事はできますが、正しくセットしないで利用した場合、正常に作動しない場合があります。又、作動した際などに外傷等の異常が発生したものは再生できません。以上の点をよく分考慮してお取り扱いください。

再生方法

異常有り
取扱店に持ち込み、メンテナンスチェックにより、再生可能か確認してもらい指示を受ける

作動（展開）

異常無し
取扱店に持ち込み、必要な部品（カートリッジボンベ等）を交換して再生する

各自で再生する
※未使用カートリッジボンベと付属の再生工具（セッティングボルト、六角レンチ）が必要です

※附属品としてボルトセッティングボルトが付いています

各自で再生するおおまかな手順

詳しくはメーカーの「再生作業」を参照下さい

未使用カートリッジボンベと再生工具を準備します 〈P21〉1 参照
▼
キーボンベにエ具を使ってキーボールをセットします 〈P21〉2 参照
▼
カートリッジボンベを外します 〈P21~22〉3~8 参照
▼
エアバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します 〈P22〉9 参照
▼
未使用カートリッジボンベを取付けます 〈P23〉11 参照
▼
キーボンベのカバーを締めて完了です 〈P23〉12 参照